

学年	高校 1 年	教科	英語	科目	論理・表現 I	単位数	2
教科書名		Vision Quest I Standard (啓林館出版)		副教材名	Vision Quest I Standard ワークブック (啓林館出版) スクランブル英文法・語法 4th Edition (旺文社出版)		
コース・クラス		N 進					

I. 目標

英語学習を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

II. 授業のねらい

- (1) 与えられた話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して伝え合う、「話すこと（やり取り）」の力を養う。
- (2) 与えられた話題について、聞いたり、読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、また意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする、「話すこと（発表）」の力を育む。
- (3) 与えられた話題について、聞いたり、読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、また意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする、「書くこと」の力を育む。

III. 授業の進め方

- (1) 各単元の例文の音読活動を、付属の動画資料などを用いて学習し、基本文を定着させる。
- (2) 各単元の文法事項を学び、それらを用いて自分で考えた文章を作成する。
- (3) 復習内容の課題を定期的に出す。また、小テストを定期的の実施し、定着の度合いを図る。
- (4) 副教材を使用し、演習を行う。

IV. 学習上の留意点

- (1) 教科書、問題集、ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
- (2) 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
- (3) 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

- (1) 教科書と問題集の内容に基づいて出題する。
- (2) 定期試験の範囲（予定）
 - 1 学期 中間試験 : 文の種類(GW 課題)、文型と動詞、時制
 - 1 学期 期末試験 : 完了形、助動詞
 - 2 学期 中間試験 : 受動態、不定詞
 - 2 学期 期末試験 : 動名詞、分詞、関係詞
 - 3 学期 学年末 : 比較、仮定法

VI. 評価の方法

- (1) 授業中の活動への取り組み状況
- (2) 発表
- (3) 提出物
- (4) 小テスト・定期試験

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	Lesson 2 文型と動詞	定期試験 小テスト 発表 提出物	文型と動詞：5つの文型と There is 構文を理解し、文を組み立てる。また、注意すべき自動詞と他動詞を使い分ける。
	5	Lesson 1 文の種類 (GW 課題)		文の種類：様々な疑問文や命令文、感嘆文を適切に作り、それに応答する。また、単文、重文、複文の構成を理解し、まとまりのある文で表現する。
		Lesson 3 時制		時制：基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて伝える。
		(1 学期中間試験)		話す[発表]：過去に行った旅行の経験について話す。 書く：最近の休日や予定していることについて書く。
一学期	6	Lesson 4 完了形	定期試験 小テスト 発表 提出物	完了形：現在・過去・未来の完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別する。また、共に使える語句を使って、適切に文を作ったり、表現したりする。
		Lesson 5 助動詞		書く：行ったことのある場所や初めて何かを経験した時のことについて書いて伝える。
	7			助動詞：様々な助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現する。
		(1 学期期末試験)		話す[やり取り]：将来の夢について伝え合う。 書く：家のルールや小学生の頃のこと、いつかしてみたいことについて書く。
二学期	9	Lesson 6 受動態	定期試験 小テスト 発表 提出物	受動態：受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝える。
		Lesson 7 不定詞		不定詞：様々な不定詞の用法を学び、詳細な情報を伝える。
		(2 学期中間試験)		書く：自分の夢、高校生が日常生活で行うべき大切なこと、日常生活でしないように気を付けていることについて書く。
	10	Lesson 8 動名詞		動名詞：動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を用いた多様な文で伝える。
				話す[発表]：スポーツをすることの利点について話して伝える。

	11	Lesson 9 分詞		分詞：名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現する。 ディベート ディベートの概念や流れ、判定基準を学び、それぞれの立場で説得力のある意見を述べる。 関係詞：関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりする。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表す。
	12	Lesson 10 関係詞 (2 学期期末試験)		
三 学 期	1	Lesson 11 比較	定期試験 小テスト 発表 提出物	比較：比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明する。 書く：本と映画のどちらに興味があるか、また最も幸せなときについて書いて伝える。 仮定法：仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができる。 書く：タイムマシンがあったら過去と未来のどちらに行きたいか、また自分や家族に望むことについて書いて伝える。
	2			
	3	Lesson 12 仮定法 (3 学期学年末試験)		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。